

実践『ペルソナ』通信 (No. 61)
「ライブイベント」に関する調査結果

～女子大生 100 人に聞いた「イベントで盛り上がる瞬間」 *Ranking*～

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、女子大学生を対象に、「イベントで盛り上がる瞬間」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は100サンプルでした。

その結果をランキング形式で、1位から10位までを発表します。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「マーケティング（担当：斎藤明）」、「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

女子大生 100 人に聞いた「イベント・ライブに参加する際、一番自分が盛り上がる瞬間」ランキング

1	好きな曲・盛り上がる曲が流れた時	46 票
2	出演者の登場シーン	24 票
3	アンコール	5 票
4	近くに出演者が来た時	4 票
5	出演者からレスポンスを受けた時	3 票
5	出演者の楽しんでいる姿	3 票
7	最初から最後まで常に	2 票
7	登場までの演出	2 票
7	出演者同士の絡み	2 票
7	出演者に盛り上がりを見せられたとき	2 票
	行かない	5 票

今回の調査結果から女子大学生はライブイベントの盛り上がる瞬間として、好きな曲や盛り上がる曲が流れることに最も票が集まっている。一方で、出演者に対して盛り上がる瞬間が 2. 4. 5. 6. 9. 10 位と多くランキングに入っていて、出演者の動きをよく観察しているように感じた。また、舞台上で行われる映像の投影、カウントダウン、花火など演出に盛り上がりを見せる人もいることが分かった。

ここから、ライブイベントに参加する人の盛り上がる瞬間として、曲も重要ではあるが、出演者を事細かく見ることや舞台演出にも価値を置いている人がたくさんいるので、そこでしか味わうことのできない音楽以外の経験に対する価値に重きを置き、参加していると想像する。また、そこで盛り上がるには、独特の雰囲気を楽しむためのグッズがなくてはならない存在であると考えられる。

(1) 1位：「好きな曲・盛り上がる曲が流れた時」。

出演者の披露する曲がやはり盛り上がるとのこと。納得の結果ではあるが、意外にも半数程度であった。

(2) 2位：「出演者の登場シーン」。

出演者の登場に会場が盛り上がるという光景はよくテレビの音楽番組でも見かけるので、予想できるシーンである。出演者の登場シーンということなので、割と序盤に盛り上がりのボルテージが上がりきってしまうということだろうか。

(3) 3位：「アンコール」。

会場の気分が盛り上がり、もう一曲聴きたいといった気持ちの高まりを一番感じそうな瞬間なので、ランキング上位で納得の結果である。

(4) 4位：「近くに出演者が来た時」。

推し・担当といった好きなメンバーが近くに来ることは、参加者にとって重要項目となっているのだろう。しかし、会場の規模によっては席がステージから遠くなってしまうことがあるため、席によって満足度が左右されそうである。

(5) 5位：「出演者からレスポンスを受けた時」。

出演者が観客に向けてファンサービスをすることで気持ちが昂るようである。そのために、自作うちわや自分をアピールするものが重要になりそうである。

(6) 5位：「出演者の楽しんでいる姿」。

自分たちが楽しむのと同時に、出演者たちの楽しむ姿に価値を持っている人がいることが分かった。

(7) 7位：「最初から最後まで常に」。

ライブ全体、その時間すべての瞬間に気分が上がると答えた人も。

(8) 7位：「登場までの演出」。

登場までに使われる演出（例：イメージ映像やカウントダウンをするなど）に対して、ワクワク感を覚えている。序盤に盛り上がり頂点がありそう。

(9) 7位：「出演者同士の絡み」。

出演者同士が近くに近寄ったり、話しているところ、ちょっかいをかけているところを事細かに観察している人もいるようで、曲というより出演者に価値を持っていそう。

(10) 7位：「出演者に盛り上がりを煽られたとき」。

出演者が観客に向けて、コール&レスポンス（曲中のコール）や、披露する曲の一部を会場にいる人に歌ってもらうなど、アーティスト発信で会場を一体化させる雰囲気づくりが好きだと感じる人がいるようだ。その場の雰囲気に価値を見出していそうである。

(11) ランキング圏外

花火や水がバシャバシャ出るとき

ステージの雰囲気づくりに対し盛り上がりを感じる人も。

銀テープが飛んでくる瞬間

演出で使われている銀テープや花吹雪が飛び出る瞬間、上を見上げ、魅せられている人も。

MCで面白い発言をしたとき

アーティストたちの普段聞けない話を聴くことも楽しみの一つのようなのだ。

会場に入るとき

始まる前の、会場に足を踏み入れることで特別感を味わう人も。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象：女子大学生 1-4 年生
2. 調査方法：調査票調査
3. 調査期間：2017 年 12 月～2017 年 1 月
4. 有効回答者数：100 人

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3 年 小野詩織